

【本校における取組（１人１台端末の効果的な活用事例）】

教科	単元・題材名	説 明	写 真
国語	「にたいみのことばを みつけよう」	子どもたちが類義語を出し合う活動を通して、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、類義語を集めることができるように、１人１台端末を活用した。自分の考えをタブレットに入力後、クラス全体で協働的に学び合うことで、語彙力を豊かにすることにもつながった。	 
体育	「かっこよく向こう側へ！ 新たな動きに挑戦！」	クラス全員で「どうすればマットの端までかっこよく回っていけるか」を共有し、自分のやりたい技に挑戦した。見本動画から技のコツを学んだ。そして、自分の動きをタブレットで撮影し、課題や変容に気付いた。友達同士でアドバイスをし合いながら、一人一人が次時の目標を立てて取り組むことができた。タブレット端末の活用が、主体的で協働的な活動に向かう手立てとなった。	 
図工	「糸から生まれる わたしの空間」	空間のよさや美しさを味わい伝え合うために、タブレット端末を活用した。１時間目は、運動場で各グループで話し合いながら、糸や空間の特徴を生かした空間をつくり、記録した。２時間目は、クラス全体で記録した写真を見ながら、工夫やよい所を伝え合い、互いの作品のよさを感じ取った。鑑賞後は、個人で想像力を膨らませながら「すてきな」空間を考え、振り返りにタブレットを用いた。	 
算数	「面 積」	本時の目標「長方形や正方形の面積を計算で求める方法を考え、公式を導くことができる。」を達成するために、個別に、メタモジクラスルームに配付された課題に取り組んだ。困ったときは、タブレット上で友だちの考えを参考に見ることもできる。個別学習後、全体で考えを発表(協働学習)することを通して、公式を導いた。最後に、タブレット端末の適用問題に取り組み、各自学びの振り返りを行った。	 